

# 具申書

(令和4年度事務事業分)

南箕輪村行政評価委員会

令和6年3月



令和6年3月18日

南箕輪村長 藤城 栄文 様

南箕輪村行政評価委員会  
委員長 渡邊 文善

## 令和4年度事務事業行政評価結果について

### 1. 緒言

行政評価委員会が令和5年度中に実施いたしました、令和4年度事務事業行政評価の結果、事務事業行政評価まとめをここに報告します。

### 2. 令和4年度事務事業行政評価結果

令和4年度の191事務事業の中から、各委員が評価対象として挙げた事業のうち20事業を令和4年度の評価対象事業としました。

評価は令和5年8月から令和6年3月までの期間、計8回実施しました。

また、評価は、質問を事前通知しておき各事務事業の担当係長等から自己評価の評価シートに沿って説明を受け実施しました。

評価結果は、添付資料のとおりです。

なお、特記事項は次のとおりです。

- (1) 評価対象20事業の内訳は、本委員会が過去に評価していないものが6事業、過去にも評価しているものが14事業です。

なお、自己評価による総合評価の内訳は、拡充：2事業、改善：7事業、現状維持：10事業、民間委託：1事業です。

- (2) 評価の結果、本委員会は評価対象全20事業を「必要性あり」と認めました。

その内訳は、拡充：2事業、現状維持：11事業、改善：7事業です。

「必要性あり」のうち「拡充」及び「改善」と評価をしたものは合計9事業（全体の45%）で前年度に比べて「拡充」、「改善」の事業数が大幅に増えました。

特に「拡充」「改善」と評価された事務事業については、その後、進捗を確認することが必要であると感じました。

### 3. 令和4年度事務事業行政評価まとめ（提案）

「評価」を一年間通じて、わからないこともあり、試行的な部分もあり、今後の「行政評価」をさらに充実していくために次のような取組みを行っていきたいと思います。

#### 評価方法について

- ① 事務事業評価シートと事前質問で評価を行うことだけでなく、実際に行われている現場に委員自身が、「自分の目」で見ることが必要であり、視察などを行う。
- ② 評価結果が、「改善」と判断された事務事業については、その後（翌年、3年後など）の進捗状況を把握していく。
- ③ 評価対象の選定は、村の方針や政策などを把握しておくことが必要であり、意見交換などができる場（懇談会）を開催する。
- ④ 村の総合計画、総合戦略、国県の政策、社会情勢などの世の中の背景などを考慮していく必要性を感じたため、研修やセミナーを通じて把握していく。

### 4. 終わりに

従来の社会環境を前提に構築されてきた仕組みそのものを問い直し、持続可能なものに抜本的に改善していくことが喫緊の課題となっており、政策や施策、事務事業を考える際に、このことを今まで以上に強く認識する必要があることは、多くの人が共感するところだと感じました。

第6次南箕輪村総合計画の策定が向けた様々な取組みが始まっておりますが、めまぐるしく変わる社会を踏まえ、行政評価委員会でも、今後も評価のあり方等の検討をすすめ、事務事業、業務の改善を実現することを期待しながら、今後の取組みについては、引き続き関心を持ち、ともに役割を果たしていきたいと思います。

## 令和4年度事務事業行政評価結果一覧（20事業）

評価結果		事業数	事務事業
必要性あり	拡 充	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● DX推進事業</li> <li>● 教育振興事務</li> </ul>
	現状維持	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 選挙管理委員会事務</li> <li>● 窓口事務</li> <li>● 男女共同参画事業</li> <li>● 例規事務</li> <li>● 職員衛生管理事務</li> <li>● 社会福祉協議会関係事務（福祉係）</li> <li>● 生活支援体制整備事業</li> <li>● 介護予防支援事業（要支援ケアプラン）</li> <li>● 高齢者の生活支援事業</li> <li>● 農業者支援事務</li> <li>● 農地の有効利用推進業務</li> </ul>
	改善	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 防災対策事務</li> <li>● 健康部すこやか係</li> <li>● 精神保健事業</li> <li>● こども館運営事業（児童館機能分）</li> <li>● 松くい虫予防対策事業</li> <li>● 中間教室設置事業</li> <li>● 体育施設管理事業</li> </ul>
合 計		20	

## 令和4年度事務事業行政評価結果（20事業）

### 評価1

事務事業	選挙管理委員会事務
担当	議会事務局
経過	第3回委員会に担当次長が出席し評議した。
評価結果	現状維持（発展的な改善あり）
委員会意見	<p>いかにして投票者を増やすかは永遠の課題である。</p> <p>年々投票率は減少傾向にあるため、投票率が増加に転ずるよう、不断の努力と新たな取組みによって改善できるところは改善されたい。特に選挙の大事さを若年層から意識できるよう教育委員会（学校）への働きかけや若年層、親世代への意識改革につないでいけるような取組みをすすめられたい。</p>

### 評価2

事務事業	窓口事務
担当	住民環境課 住民係
経過	第3回委員会に担当係長が出席し評議した。
評価結果	現状維持（発展的な改善あり）
委員会意見	<p>窓口は、村民や来庁される方の役場の顔である。人口の増加や住民要望の多様化などにより事務量も増加し、簡素化できない業務のため、きめ細やかな対応ができる窓口を目指すうえで、DX化などの有効活用を図られたい。来庁者の意識、職員の負担軽減から業務になれない初任の方に目印となるもの（例えば初心者マーク）をつけるなどの工夫も図られたい。</p>

### 評価3

事務事業	DX推進事業
担当	地域づくり推進課 情報政策係
経過	第3回委員会に担当係長が出席し評議した。
評価結果	拡充（加速化）
委員会意見	<p>自治体DXの推進として、推進体制の構築、6つの重点取組事項をかけた、情報システムの標準化や行政手続きのオンライン化など、最先端のテクノロジーを活用し、利用者中心の行政サービスを実現する</p>

	取組みをさらにすすめられたい。現実的な問題として、社会全般には、2025年の崖の問題など、地方行政を取り巻く環境は大きく変化している。AIチャットボット、電子申請、RPAなどのICTの導入や、職員研修やテレワークの推進など、できることから自治体DXに向けた職員の意識改革とあわせ、取組みを加速化してすすめられたい。
--	---

#### 評価4

事務事業	男女共同参画事業
担当	地域づくり推進課 企画係
経過	第3回委員会に担当係長が出席し評議した。
評価結果	現状維持（発展的な改善あり）
委員会意見	<p>第5次男女共同参画計画の策定から2年が経ち、男女共同参画社会実現の意義について改めて認識する必要がある。男女共同参画社会とは、性別に関係なく一人ひとりが尊重され、自分らしく活躍しながら生きられる社会なので、具体的な課題解決のための実践的で社会のニーズに応じた取組みを推進する多様な主体のネットワーク化を充実しながら、連携・協働の下での実践的な取組みを目指されたい。</p> <p>男女共同参画は、とにかく”気づき”のところから始めていくことが大事なため、バイアスや無意識の思い込みに気づくことから草の根的な取組みを続けていくことをすすめられたい。</p>

#### 評価5

事務事業	例規事務
担当	総務課 行政係
経過	第4回委員会に担当係長が出席し評議した。
評価結果	現状維持
委員会意見	<p>例規事務（法規）は、地方自治の基となるルールである。DX化による効率化によって、職員の負担軽減をさらにすすめられたい。</p> <p>法規の改正や整備にミスがないよう職員研修などによって、法規事務の理解を深め、チェック方法、誰もが理解できる環境づくりをさらに工夫されたい。</p>

評価6

事務事業	職員衛生管理事務
担当	総務課 行政係
経過	第4回委員会に担当係長が出席し評議した。
評価結果	現状維持
委員会意見	<p>メンタルヘルスの不調は、本人がその症状に気付いていなくても、表情や行動にサインが表れているケースがある。多くの人が一日の大半を過ごす職場では、同僚や上司による気付きがとても大切なため、まずは、職員全員がストレスチェックを受けることや産業カウンセラー面談の活用によって、自身のストレス状況に気付き、セルフケアに取り組むことをすすめられたい。</p> <p>引続き、庁内カウンセリング窓口や職場環境の改善活動を行い、職員のストレスを緩和するように努める改善を図られたい。</p>

評価7

事務事業	防災対策事務
担当	総務課 管理防災係
経過	第4回委員会に担当係長が出席し評議した。
評価結果	改善（充実）
委員会意見	<p>年々、村内や近隣地域では、災害も拡大している状況のため、地域における自主防災会は重要な役割を補う組織である。各区の状況や区非加入世帯との兼ね合いもあるが、自治会の在り方とあわせ、自治運営や防災強化として、組織の充実に向けて改善されたい。</p> <p>消防団、日赤奉仕団、広域消防などとの役割や連携を強化し、防災士や防災ボランティアなどの専門性の高い人材の育成を図られたい。</p>

評価8

事務事業	社会福祉協議会関係事務（福祉係）
担当	健康福祉課 福祉係
経過	第4回委員会に担当係長が出席し評議した。
評価結果	現状維持（継続）
委員会意見	<p>福祉の充実のため、村（福祉係）と社会福祉協議会との業務のすみ分けを行いながら、協力をさらに充実されたい。</p>

	住民へのサポートも大事ことではあるが、話を聞くなどコミュニケーションが最も重要なため、相談できる場所、相談者と長く関わっていけるよう環境づくり、仕組みづくりを図りたい。
--	--

評価 9

事務事業	健康部すこやか係
担当	健康福祉課 健康推進係
経過	第5回委員会に担当係長が出席し評議した。
評価結果	改善（廃止を踏まえて）
委員会意見	<p>自助の目的にむらづくり委員会からの提案された組織だが、時代の変化に対応できていない組織となっていることは否めない。</p> <p>持続可能な自治会検討委員会でも、議論されるとのことなので、住民の「健康づくり」の充実に向け、専門的な知識や経験を持った指導員の配置や、複数年にわたり携わる人材の育成など、時代に即した健康づくりを構築されたい。</p>

評価 10

事務事業	精神保健事業
担当	健康福祉課 健康推進係
経過	第5回委員会に担当係長が出席し評議した。
評価結果	改善（取組みや広報活動、体制の充実を図る。）
委員会意見	<p>自殺はその多くが追い込まれた末の死であり、その多くを防ぐことができる社会的な問題である。出口を見つけないという藁をもつかむ思いの中、悩みを抱えている相談者が多く見受けられ、社会全体、地域全体な取組み、民間企業との連携などにより、自殺予防や対策に繋がるものが多々あると思います。</p> <p>自殺対策を、生きることの包括的な支援として、保健、医療、福祉、教育、労働その他の関連施策と連携を図り、総合的な支援や相談などの体制を検討されたい。</p> <p>また、生きにくさを抱えた若者（中高生など）たちへの支援やきっかけづくりとして、授業時間内で各クラス単位での開催、専門的な方に話を聞いてもらうなどの機会や取組みを新たに充実されたい。</p>

評価 11

事務事業	生活支援体制整備事業
担 当	健康福祉課 介護支援係
経 過	第5回委員会に担当係長、担当が出席し評議した。
評価結果	現状維持
委員会意見	<p>「生活支援体制整備事業」の名称がわかりにくく、まずは誰もがわかるような名称にされたい。</p> <p>村の高齢者が、地域に関係なく、誰でも参加でき、高齢者みなさんが一緒にお茶飲んだりするなど、些細なことを日常的に行われるコミュニケーションの空間づくりの場を構築されたい。</p> <p>もちろん健康に関わらず、高齢者がお互いに支え合えるような一人ひとりがつながっていくよう「向こう三軒」「お互いさま」の地域づくりの一役を担う取組みをすすめられたい。</p>

評価 12

事務事業	介護予防支援事業（要支援ケアプラン）
担 当	健康福祉課 介護支援係
経 過	第5回委員会に担当係長、担当が出席し評議した。
評価結果	現状維持
委員会意見	<p>人は誰でも年を取っていけば、身体機能の低下していくことは明らかで、そのことを維持する、改善するといった評価指標にすることは困難と思います。</p> <p>専門的なスタッフが作成したケアプラン（計画）と改善ケアプランとが違ってくことはあきらかなため、ケアプランを維持できたことを評価するのではなく、違う評価の指標や設定されたい。</p> <p>事業の正当な評価が得られるような評価の見直しについては、村総合計画や他計画との見直しにあわせて改善されたい。</p>

評価 13

事務事業	高齢者の生活支援事業
担 当	健康福祉課 高齢者支援係
経 過	第 6 回委員会に担当係長が出席し評議した。
評価結果	現状維持
委員会意見	<p>少子高齢化時代の昨今、高齢者は年々増加している。幸い近隣市町村と比べ、今のところ村の高齢化率は低い状況だが、避けて通れない社会課題のひとつである。</p> <p>認知症や家庭的な問題などによって、金銭管理や金銭のやり取りが難しい問題もあり、後見人制度なども含めた、高齢者への支援は、地域や行政、支援団体が一緒になって、ケースバイケースで支える仕組みが急務である。</p> <p>様々なサービスに対応するため、サービスの民間委託、地域に密着したボランティアを育成し、世帯状況を大体把握しながら、区や有事の際の自主防にも関わってもらえる体制づくり、ボランティア経費の強化を図られたい。</p>

評価 14

事務事業	こども館運営事業（児童館機能分）
担 当	子育て支援課 こども館係
経 過	第 6 回委員会に担当が出席し評議した。
評価結果	改善
委員会意見	<p>0 歳から 18 歳までの切れ目のない子育て支援拠点としてのこども館は、小中学生を中心に、各種イベントや利用が拡大している。</p> <p>しかし、高校生たちの居場所としては課題がある。切れ目ない支援の場は大切にしながら、こども館にすべてを盛り込むことは難しいため、図書館や地区公民館などの複数の施設と連携しながら、支援の充実を図られたい。</p> <p>不登校やひきこもり、家庭の問題などは年々複雑化しており、なかなか相談しにくい雰囲気改善できるように、誰もが寄り添える場所、子育ての拠点として確立されたい。</p>

評価 15

事務事業	農業者支援事務
担 当	産業課 農政係
経 過	第 6 回委員会に担当係長が出席し評議した。
評価結果	現状維持
委員会意見	<p>2030 年には農業従事者・農業形態ともに 2020 年の半分以下になることが予測されている。農業者支援として、補助金や運転資金を確保は必要だが、現状の生産力を維持するためには、農地の集約やスマート農業の推進といった農業経営の効率化が急務である。</p> <p>農家の法人化が進む一方で、最新技術を駆使すれば家族経営の農家でも大規模農家と遜色ない生産性を実現できる可能性がある。</p> <p>新たな担い手となる農業者の育成しながら、6 次産業化や農家自体のブランディングなど、持続可能な農業を目指す経営戦略を立てていくことが望ましい。</p>

評価 16

事務事業	農地の有効利用推進業務
担 当	農業委員会事務局
経 過	第 6 回委員会に事務局次長が出席し評議した。
評価結果	現状維持
委員会意見	<p>農地の賃貸借は、貸し手と借り手の双方で決定することが基本である。農業者が中長期的に安心して引き続き農業を営めるよう、農地の集積や集約、農地あっせん事業を活用しながら農地の有効利用を図られたい。</p> <p>耕作放棄地、遊休農地などを抑制できるよう農地パトロール、農地のマッチングなど、農業委員、農業関係機関の連携をさらに強化を図られたい。</p>

評価 17

事務事業	松くい虫予防対策事業
担 当	観光森林課 森林デザイン係
経 過	第7回委員会に担当係長が出席し評議した。
評価結果	改善
委員会意見	<p>人の手によって、造られたきた「大芝高原」の森林だが、人が造った森林は、人が手を入れなくてはならないため、樹種転換による森林整備が必要である。しかし、住民には、生まれたときから大芝高原に森林があり、木が枯れたから切ってしまうことにすごく強い抵抗がある、特に大芝高原の森林には様々な思いがあると感じた。</p> <p>できれば、大芝高原の森林の成り立ちなど歴史的な経過を知らない方が多いので、保育園頃から周知を広めていただきたい。</p> <p>伐採した場所がもとの森林になるまでには、長い歳月を要するため、木々や成り立ちの知識や状況を知り、森林が一層に近い存在になることが、大芝高原の森林の未来への近道になるよう村民に広めるよう図られたい。</p>

評価 18

事務事業	中間教室設置事業
担 当	教育委員会事務局 学校教育係
経 過	第7回委員会に担当係長が出席し評議した。
評価結果	改善
委員会意見	<p>登校できない児童生徒の理由は、個々それぞれであり、自分の思いに自信が持てず、自分の気持ちを聞いてほしい児童生徒には、中間教室で雑談を通じて様々な話をして、いろいろな考え方があることを実感したり、その子の思いを受け止めて、大いに認めて励ましたり、勇気づけることなどの取組みを引続き継続されたい。</p> <p>不登校の原因は、子どもの数だけ存在し、適切な対応も人によって異なり、小学校から高校まで、年代によっても対応の仕方は変わってくる。本人だけ、親だけ、学校だけと偏るのではなく、互いに連携しながら対応していくことを基本に、中間教室は、学校での自分の存在が苦しくて悩んでいる児童生徒、自分と他の仲間との関係で悩んでいる児童生徒、自分らしさを取り戻すための多様な学びの場の一つであると捉え、むしろその子がその子らしく生きていくことを支援する「中間教室」となることを期待したい。</p>

評価 19

事務事業	教育振興事務
担 当	教育委員会事務局 学校教育係
経 過	第7回委員会に担当係長が出席し評議した。
評価結果	拡充
委員会意見	<p>キャリア教育、ICTなどの教育は、情報社会の現代では、避けては通れないものである。</p> <p>人口減少・少子化の深刻化とともに、目の前にある「新たな価値創造」「イノベーション創出」「一人ひとりの多様な幸せ」を目指す Society 5.0 時代、DX、そしてアフターコロナという大きな時代の転換期にある今、教育・人材育成システムの抜本的な転換が急務となっている。</p> <p>現実社会と、現実世界を融合して、Society 5.0 をめざしていく時代の中、どれだけツールを上手に使えることが鍵となるため、ツールの活用方法、情報モラルなど、幼少期から学習することを学校全体や関係機関が連携して引続きすすめられたい。</p> <p>これからの将来を担う世代にとって、特異な才能のある子供に対する理解を深め、特異な才能・能力を活かすことができるようにするため、個別性の高い教育課程の仕組みを作るとともに、さらなる教育、学びの場にしていく環境の実現を目指されたい。</p>

評価 20

事務事業	体育施設管理事業
担 当	教育委員会事務局 社会教育係
経 過	第7回委員会に担当係長が出席し評議した。
評価結果	改善
委員会意見	<p>施設利用者が、簡単に、わかりやすく、誰もが使いやすい予約システムを早期に導入されたい。施設を管理する関係する部署や管理者が異なるため、村内の体育施設全体の一体的なシステム・管理構築を図られたい。</p> <p>全国的な動きとして、スポーツ施設の整備・運営に関して、多様な業種からの参入が増えている。施設の長寿命化計画はもちろんのこと、維持管理、運営などを民間企業が、自らのノウハウを活かした新たなスポーツ施設のあり方等を模索し始めている。</p>

	<p>官と民が連携して、地域のポテンシャルを最大限引き出し、地域に親しまれ、賑わいの拠点として生まれ変わっていくことを公共スポーツ施設において、地域の活性化に資する施設の計画が増えると思われる。</p>
--	---

行政だけでなく、民間事業者の創意工夫を活かし、地域のポテンシャルを引き出すための手法として、官民連携手法などが検討され、適切に活用されていくことを期待する。

## 行政評価委員会会議の経過

令和5年度

開催日		協議内容
第1回	令和5年 8月10日	協議事項 ○行政評価委員会について ○行政評価及び選定について
第2回	9月21日	協議事項 ○行政評価事業の選定について（20事業）
第3回	10月30日	協議事項 ○10月分 評価事業 ・選挙管理委員会事務 ・窓口事務 ・DX推進事業 ・男女共同参画事業
第4回	11月15日	協議事項 ○11月分評価事業 ・例規事務 ・職員衛生管理事務 ・防災対策事務 ・社会福祉協議会関係事務
第5回	12月20日	協議事項 ○12月分評価事業 ・健康部すこやか係 ・精神保健事業 ・生活支援体制整備事業 ・介護予防支援事業（用支援ケアプラン）
第6回	令和6年 1月22日	協議事項 ○1月分評価事業 ・高齢者の生活支援事業 ・こども館運営事業（児童館機能分） ・農業者支援事務 ・農地の有効利用推進業務

開催日		協議内容
第7回	2月26日	協議事項 ○2月分評価事業 ・松くい虫予防対策事業 ・中間教室設置事業 ・教育振興事務 ・体育施設管理事業
第8回	3月18日	協議事項 ○令和4年度事務事業行政評価結果に対する検討結果について ○令和4年度事務事業行政評価具申書について ○まとめ
	4月 日	具申 ○令和4年度事務事業行政評価具申を村長へ手渡す

## 南箕輪村行政評価委員名簿

任期：令和5年7月1日から令和8年6月30日までの3年間

委員長	渡邊 文善
副委員長	有賀 直実
委員	林 俊貴
委員	市村 豊
委員	原 浩
委員	土屋 幸子
委員	天田 美咲

敬称略